

だんだん



いた!アカショウビン

朝もやのかかった美人林に響く「キョロロロ…」と澄んだ鳴き声。野鳥ファンのお目当ての一つ、アカショウビンです。望遠鏡でその姿をとらえると、色鮮やかな赤褐色の羽毛と発見の喜びに目が覚めました。5月31日(土)、6月1日(日)の2日間開催された第52回松之山探鳥会。野鳥の宝庫として名高い松之山の名物行事です。(関連記事10ページ)



アカショウビン(ブッポウソウ目 カワセミ科)
全長27cmほどで、くちばしと羽の赤褐色が特徴。梅雨時期の渡り鳥で、フナ林などを好んで営巣します。「キョロロロ」と尻下がりに澄んだ声で鳴きます。この鳴き声から、森の学校「キョロロ」(下川手)の名称がつけられました。

愛称「だんだん」は、方言のおいさつ「だんだんどうも」(河岸段丘・棚田)、「ステップアップ」などを表しています。

主な内容

- がんばれ 全日本女子レスリング…………… 2-3
- 職員研修で学ぶ協働のまちづくり…………… 4-5
- EM菌で健康と環境に優しく/田んぼ交流…………… 6-7
- 表彰おめでとう/アイリスまつり/市職員募集…………… 8-9
- 地域の風~支所からのたより~…………… 10-11
- ときめきネットワーク/ときめきのセキ/大地の祭りほか…………… 12-13
- まちの話題 TOPICS…………… 14-15
- お知らせ・ガイド ほか…………… 16-19
- ジュニア芸術祭一仙田小学校…………… 20

目指せ!金メダル

がんばれ 全日本女子レスリング

選手はぐくむ 塩ノ又・桜花レスリング道場



気迫のこもった練習に身じろぎせず見学する子どもたち

後援会・激励会を開催

今年開催される2大会を控え5月24日(土)、全日本女子レスリング十日町後援会(山川準一会長)の定時総会が開催されました。会場の桜花道場には市内外の会員約80人が参集。各大会への応援ツアーや壮行会の実施、応援体制の強化などを話し

合いました。

併せて、道場で合宿する選手たちの激励会を開催。勸日本レスリング協会の丸山秀二副会長が選手・コーチを紹介し、それぞれが決意を述べると会場から激励の拍手。その後、選手たちや後援会員の皆さんがテーブルを囲み、和やかな雰囲気の中で、各大会での活躍を誓い合いました。



「十日町のおばちゃん(林千代さん)」と呼んで親しむ浜口さん



これぞ最高のファンサービス。吉田さん特製焼きそば。みんなに元気を盛り分けます



全日本女子レスリング十日町後援会 会長 山川準一さん (本町7-2・60歳)

桜花道場での強化合宿は、期間も長くハードな練習です。世界の大大会で多くのメダルを獲得してすばらしい成果を挙げている日本の女子レスリングはまさに最高峰。

これだけ厳しい練習を積極的に取り組む姿を見ていると、この選手たちは負けるはずがないと確信できます。8月には十日町から30人、東京支部から10人、合計40人が選手の手応援に北京に乗り込みます。この桜花道場でも、後援会や市民の皆さんが一堂に会して大声援を送ってほしいと思っています。10月には市を挙げて、大祝勝会ができるように、多くの市民の皆さんから応援をお願いします。

日本中の期待を一身に、全日本女子レスリング北京オリンピック(以下、北京五輪)代表選手などの強化合宿が、塩ノ又・桜花レスリング道場(以下、桜花道場)で行われています。5月の公開練習には、マスコミ40社が取材に訪れるなど、注目度ナンバーワン。今回の合宿では、道場脇の田んぼで初めての田植えも行い、米どころ十日町市のPRにも一役買ってくれました。北京五輪まであと2か月。桜花道場に満ちる、選手と地域の熱気をお伝えします。

8月の北京五輪、10月の世界選手権と世界クラスの大会が続く今年、全日本女子レスリングの選手たちは、桜花道場で4回の強化合宿を行う予定です。練習は走り込みや筋肉トレーニング、そして試合さながらのスパリングなど盛りだくさん。合宿期間中は、毎日選手たちの気迫のこもった練習が行われています。北京五輪代表選手たちの声です。



伊調千春さん(48kg級)

ここ(塩ノ又)の地形を生かした走り込み中心の練習の成果が、今の足を使っている



吉田沙保里さん(55kg級)

だと思えます。常に試合感覚で練習して、自分の良いところを伸ばしながら世界の舞台に挑みたいですね。1月のワールドカップでのリベンジを果たします。十日町市では毎年練習しているし、皆さんからの声援が伝わってきます。北京五輪では金メダルを取って、十日町に戻って応援へのお礼がしたいです。



伊調馨さん(63kg級)

毎日の練習は、常に前に進む気持ちで打ち込んでいます。練習量が半端じゃないので、もっと強くなれる気になります。トレーニングは楽しくなければいけません。今は心も充実しているので、きついけど頑張れます。



浜口京子さん(72kg級)

全身筋肉痛です。ここにいるだけで気持ちが強くなれます。ここぞみんなと練習したことを精いっぱい生かして、明るく元気に自分らしいレスリングをすれば結果が付いてくるはず。金メダル目指して頑張ります。

レスリングと十日町の米

田植えてエールの交換



日韓W杯公式ポスターを手掛けた書芸家：平野壮弦さんも応援に駆け付けました

市が進める新たな米づくりを広めようと5月26日(月)、選手たちが桜花

道場脇の水田で田植えに挑戦しました。十日町のお米が大好きという選手たちは、水田を管理する徳永稔さん(船坂・56歳)の指導のもと、泥に足を取られて苦戦しながら丁寧に苗を植えました。初めての田植えに浜口さんは、「十日町に来る楽しみが増えました。苗とともに成長したいです」と話し、吉田さんは、「黄色のおいしいお米になってほしいです」と話していました。レスリングと十日町の米が互いに金メダルを目指し、田植えてエールを送り合いました。



勸日本レスリング協会 副会長 丸山秀二さん(稲葉・66歳)

選手・コーチを紹介する丸山副会長(写真左)

大会を前に選手たちは、なじみを持って十日町の強化合宿に挑んでいます。昨年10月には新潟国体開催前記念行事で市民とともに吉田クロスカントリースキー競技場で汗を流したり、今年2月には名古屋市での「染織の祭典・十日町フェア」にも振袖姿で参加してくれました。また、今回の合宿では、選手たちが初めての田植えに挑戦して、市のPRに協力してくれています。前回のアテネオリンピックから、女子レスリングが競技種目に加わり、世界が日本の女子レスリングを研究してきています。ここ桜花道場で積む基礎鍛練と十日町からの応援が、それらを跳ねのけるパワーになると思います。

職員研修で学ぶ 協働のまちづくり

今年度から本格的に始まった「協働のまちづくり」への取り組み。5年後、10年後を見すえた「十日町流の協働のあり方」の確立を目指すシナリオ「協働のまちづくり推進指針」策定が、今年度の主な事業です。その第一歩として、協働型社会の認識を高めるために、市の全職員を対象にした「協働のまちづくり」の研修が行われました。



直感で判断！旗上げアンケート

6会場7回に分けて実施

708人の市全職員(特別職含む)を対象にした研修会は、中里支所・市民会館・情報館などの6会場で、5月19日(月)から20日(火)にかけて7回に分けて実施。休職中や業務の関係で都合のつかなかった職員を除く630人が参加しました。

講師は、市のステップアップ委員で山口大学大学院教授の内田文雄氏と、国土交通省地域振興アドバイザで寺川ムラまち研究所代表の寺川重俊氏。内田氏は、旧川西町の賑わい空間創出事業の設計監理を担い、基本計画から設計、施工、施設運営にいたるまで、地域に密着し、徹底した住民参加で事業をまとめた実績があります。寺川氏は、長年、大分県湯布院町など全国で、まちづくりへの住民参加の仕組みづくりに携わり、昨年度からは、内田氏とともに川西地域の地域振興計画の策定にかかわっています。



講師の話に真剣に耳を傾けました

旗上げアンケートで意識調査

研修では、「いま、なぜ協働なのか」や、「まちづくりの現場での縦割り行政の限界」、「新しい公共が地域の自立につながる」など、協働のまちづくりの理念や時代背景などを、具体例をおして学びました。特徴的だったのは、その場で出された質問に番号カードを示して答える「旗上げアンケート」です。すぐに集計され、そのときの状況がすぐに参加者自身にフィードバックされるため、理解を深めてさらに考えるきっかけになりました。結果は、グラフ(4ページ)のとおりです。

ともに築く新しい公共

内田氏、寺川氏が強調したのは、少子高齢化や財政縮小、情報化社会、都市と農村の格差拡大など、自治体をとりまく環境が厳しさを増す一方で、「しようがないから官から民へさまざまな役割を移すのが協働」という考え方ではなく、行政や企業、NPO、市民など地域にかかわるすべての主体が横に手を結び、「総力戦で地域の自立(自律)を目指すのが協働のまちづくり」だということです。

これを実現するためには、国・県・市町村・地縁組織という従来の縦割り行政システムでは限界があり、それぞれの主体が持っている資源や資産を出し合い、ともに公共を担っていくという「新しい公共」を築いていくことが大切だと力説しました。

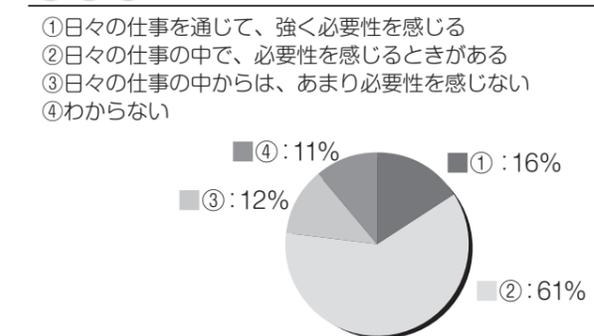
市ではこれから、職員プロジェクトチームを編成し、市民活動グループや行政のヒアリングを実施して、指針策定作業の準備に入っていきます。

■問合せ 総合政策課協働のまちづくり推進室 ☎757-3693 (内線237)

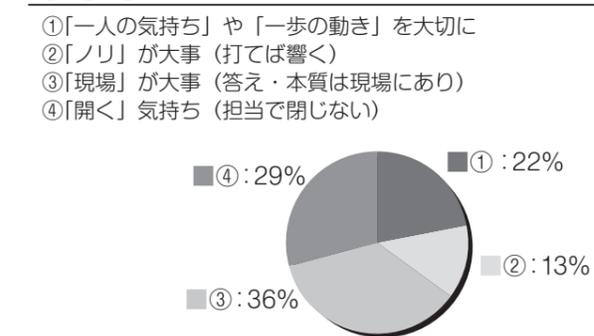
市民と行政の協働によるまちづくりの推進 職員研修 2008.5.19~20/7会場で実施/630人参加

旗上げアンケート結果

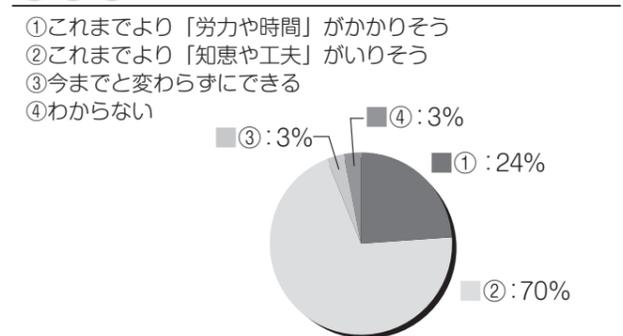
質問1 あなたは「協働」の必要性を感じていますか？



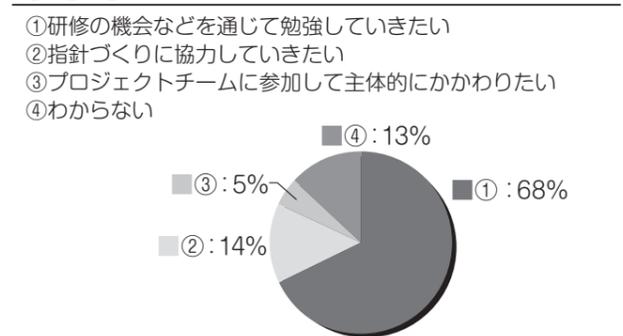
質問3 官民協働を進める職員の心構えは？



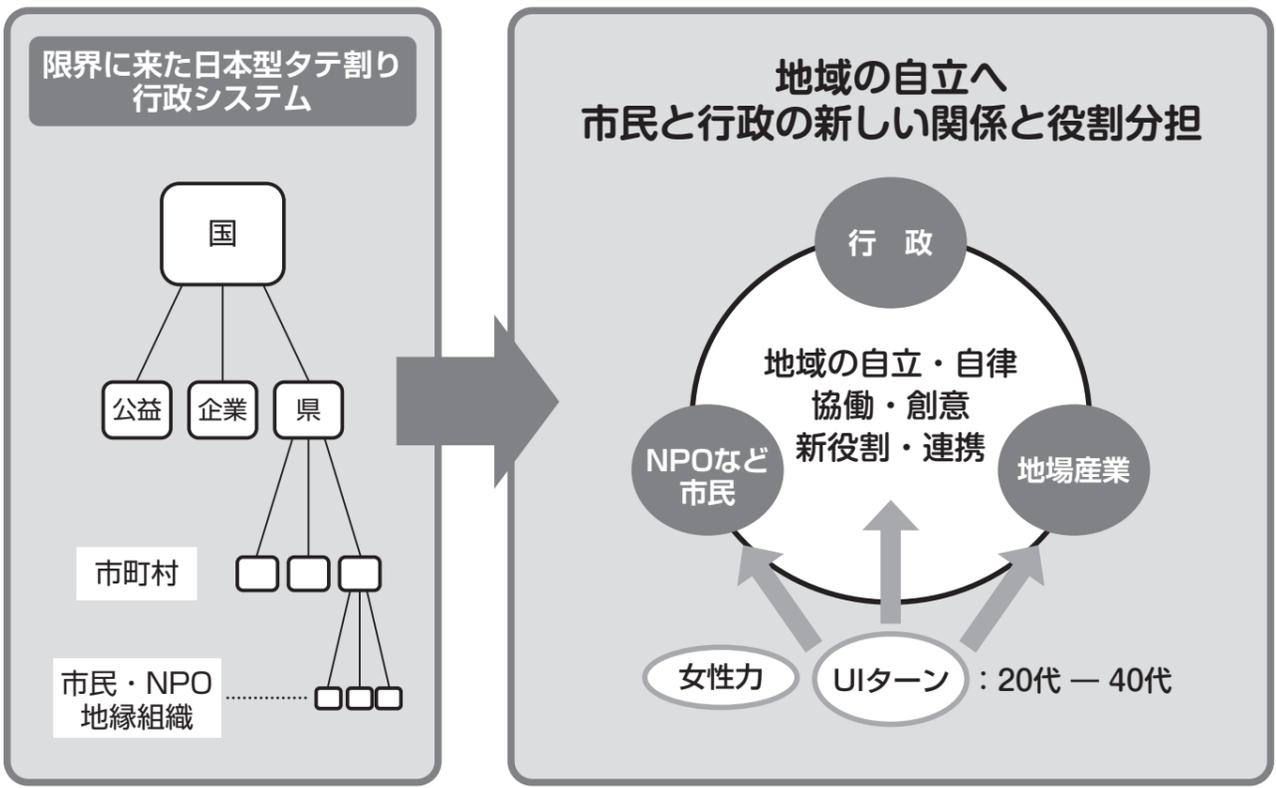
質問2 「協働」は大変そう？



質問4 「協働のまちづくり」への取り組みに対してあなたは？



21世紀の日本：地域の自立と協働の時代



EM菌で健康と環境に優しく かんたんにプール清掃!



5月21日(水)吉田小学校、27日(水)下条小学校でEM菌を使ったプール清掃が行われました。EM菌を使ったプール清掃は、昨年から市内で初めて下条小学校で始めた取り組みです。従来の塩素を使った清掃に比べて費用も格段に安く、安全で環境への負荷が小さいなど、注目される新しい掃除方法です。

EM菌
微生物の中から、人間や自然環境に役立つ安全な種類だけを集めたものです。植物を元気に大きくする肥料の代わりに利用されたり、消臭や環境浄化に活用されています。

一生懸命にプール清掃をする下条小学校の児童たち



左から吉田小学校和田校長、下条小学校高橋校長、吉田小学校丸山教諭

EM菌をもっと学校に広めたい
昨年度下条小学校に赴任してきた高橋政子校長は、以前新潟市内の小学校に勤務していたころ、初めてEM菌を使ったプール清掃に取り組みました。「15年ほど前にEM菌と出会い、植物の栽培に使っていました。プール清掃に使い始めたのが5年前。県内の学校ではまだ取り組みがなく、失敗もだめもとで実験を行ったのがきっかけです」と話す高橋校長。昨年度下条小学校で、市内の学校で初めてEM菌を使った清掃を行いました。秋には市内の学校に声をかけ、EM菌の講習会を開催しました。そこでEM菌の効果に驚き、今年のプール清掃に取り入れたのが吉田小学校でした。

プール清掃に使って...

「清掃のときにおいが無いのが驚きですね」と話す吉田小学校和田英史校長。EM菌がプールに沈殿しているヘドロを分解するため、ほとんど悪臭がありません。汚れもこびり付きにくくなるので、清掃はとても楽になります。1時間15分ほどで簡単にプール清掃が終わりました。



力と協力した米農家からEM菌をもらって、家庭でも育てています。高橋校長は、「EM菌のプール清掃では、おたまじゃくしも泳いでいます。肌の弱い子どもも作業に参加できるので安心です」と話していました。

どのように使うの...?
EM菌は培養して増やすことができます。米のとき汁に砂糖と塩を加えたものに、市販されているEM菌を入れ、約1週間発酵させます。25メートルプールでは、培養したEM菌を約200リットル入れ、1か月ほど放置します。この間にEM菌が汚れや葉緑素を分解します。掃除は水を吹きながらナイロンたわしなどで軽くこするだけです。落ちにくい汚れは、培養したEM菌を直接吹きかけてこすります。

健康や環境への配慮

従来のプール清掃では塩素や洗剤を使用しますが、アレルギーなどの健康被害を引き起こすことがあります。排水として流す際も環境への負荷が大きく、掃除に使用する水量も多いなどの問題点がありました。EM菌は環境にやさしく、プールから流れ出したEM菌を含んだ水は、川や海を積極的に浄化する力になるとも言われています。高橋校長は、「EM菌のプール清掃では、おたまじゃくしも泳いでいます。肌の弱い子どもも作業に参加できるので安心です」と話していました。



「こうやって植えらんだ」(東田尻)

大地の芸術祭をきっかけに、作家と集落の人たちとの結び付きが、地域ににぎわいを呼んでいます。中里地域の白羽毛、東田尻集落では、春や秋の農作業に加え、通年設置のアート作品の管理や田んぼのオーナー制度など、すそ野の広い活動に発展しています。

大地の芸術祭 はぐくんだ田んぼの交流



作業の後のおいしいおにぎり (白羽毛)

田んぼオーナー制で深まる交流
(東田尻)
東田尻で、作家の芝裕子さんと交流する「山美し」(大島美治会長・会員4人)は、芸術祭をきっかけに、農地を守ろうと営農グループとしても活動を始めました。高齢化の進む現在、地域の農業の担い手として活躍が期待されています。昨年からは、始めたこの田んぼオーナー制は、農業を楽しむ活動源になっています。

作品に愛着 地区で管理担当
(白羽毛)
第2回大地の芸術祭(平成15年)で、集落に作品を設置した青木野枝さんとの交流が続いています。青木さんは、自らが勤める多摩美術大学の学生とともに、平成16年から春と秋に白羽毛集落を訪れ、田植えや稲刈りを行っています。その農作業を指導するのが「白羽毛あぜ道会」(樋口徹会長・会員15人)。会員の多くが農家であり、田んぼの提供や作業方法の指導などで、地域での受け皿となっています。



青木野枝さん (作家)

田んぼが大好き

私の作品には、田んぼが大きくかわっています。私は田んぼが好きなんです。それが高じて、お米の袋もデザインしました。そして何より、作品も訪れた私たちも受け入れてくれる地域の人たちがいるってうれしんです。学生たちも、この思い出を大切に、将来子ども連れで来てくれるといいですね。



芝 裕子さん (作家)

経験しなけりゃ分からない

前回の芸術祭で、地域でとれた稲わらを使って作品を制作しました。地域の皆さんから協力してもらって、お米の自慢話を聞いてもらううちに自分もやってみたいとなったんです。昨年初めて自分で作ったお米は、格別なおいしさでした。もう、「米つう」です。東田尻で作品制作ができる、本当によかったと思っています。



白羽毛あぜ道会 樋口 徹さん (白羽毛・40歳)

集落で公募作品の推薦したい

当初は、青木さんをバックアップしようとして、作品の冬囲いや周りの草刈りなどをしてきました。青木さんとの思いが重なって、農業で親しくなれるなんて集落もいい雰囲気ですよ。次回の芸術祭に向けて、青木さんの教え子の人も、頑張っていますからね。公募に採択されるように集落でも推しますよ。



山美し 大島美治さん (東田尻・40歳)

芸術祭きっかけ 新たな試み

田んぼを荒らしたくないというのが、この田んぼオーナー制をやるようになったきっかけです。そのおかげで、このように作家さんと交流もできてよかったです。年3回農作業に来てもらって、収穫したお米をお渡しするので、農業を実感してもらえと思っています。昨日は、盛大に懇親会をしました。これも楽しみなんです。

表彰

おめでとうございます

消防庁長官表彰

(危険物保安功労)



野澤 由雄さん
(沖立・65歳)

永年にわたり危険物に起因する事故防止に寄与した功績が認められ、消防庁長官表彰に輝きました。「信濃川の上流に住む者として、絶対に灯油などの流出事故は起こしてはなりません」と話していました。

関東管区警察局長(交通安全功労) 関東交通安全協会連合会長表彰



中村 義雄さん
(木島・74歳)

昭和51年、(財)十日町地区交通安全協会千手支部役員に就任し現在(同協会副会長)まで32年間、交通事故防止活動に従事しました。平成19年、川西地域の無事故1,000日に貢献。現在1,500日に向け活躍中。



入選しました「あしたへ」

平成19年12月に発行した中越大地震十日町市記録集「あしたへ」が、平成20年全国広報コンクール(社)日本広報協会主催)の広報企画部門で入選しました。同部での入選は、昨年の市勢要覧「散歩みち」に続いて2回目。丹念な取材に基づく証言や写真を満載しているほか、データで大震災を検証していることなどが評価されました。付録の防災ノートや集落・町内マップもお役立ちのアイテムです。(1冊1,000円)

●問合せ=総務課広報広聴係
☎757-3112

平成21年度採用 十日町市職員募集

平成21年4月1日採用の十日町市職員採用試験を実施します。十日町地域広域事務組合(消防士)の採用試験は次号市報6月25日号でお知らせします。高等学校卒業生などを対象とする職員の採用試験の実施は未定です。

募集職種・人数・受験資格

- ① 一般事務上級 若干名
学校教育法による大学卒業生(来春卒業見込者含む)
- ② 土木上級 若干名
学校教育法による大学の土木専門



試験方法

- 【第1次試験：筆記試験】
期日 7月20日(日)
会場 十日町保健センター
試験科目 教養試験、専門試験、適性試験、作文
- 【第2次試験：面接試験】
期日 8月31日(日)予定(会場など詳細は、1次試験合格者に直接通知)

～初夏の当間高原を彩る虹の花～

第14回 アイリスまつり

子ども連れや写真を撮る人などでにぎわいました

絵手紙教室の参加者は、「ゆっくり筆を走らせるのがコツ」と指導を受けながら、真剣な眼差しで描きました



アイリスの掘り売り販売では、育て方なども丁寧に説明



5月31日(土)～6月8日(日)まで、当間高原リゾート・ベルナティオ(珠川)周辺で第14回アイリスまつりが開催されました。会場には110種類・約2万株のジャーマンアイリスのほか、クジャクソウ、セラスチウム、マーガレットなど季節の花37種類が咲きそろう、大勢の人が楽しみました。会場では今年から新たに始めたアイリス絵手紙教室のほか、ワンワンふれあいコーナーやそば打ち体験教室、陸上自衛隊高田駐屯地音楽隊による演奏会やヘリコプター遊覧飛行などさまざまなイベントが行われました。

申込み

土・日曜日、祝日を除く6月26日(休)までの午前8時30分～午後5時30分に、必要書類を総務課人事係に提出(持参する場合は本人以外でも可、郵送可※6月26日(休)必着)

必要書類

- ① 職員採用試験申込書(総務課人事係に配置、ホームページ <http://www.city.tokamachi.niigata.jp/> にも掲載)
- ② 成績証明書(上級は大学のもの、

給与(初任給)

保健師は最終卒業学校のもの。卒業見込者は最近までのもの。③ 卒業証明書(上級のみ。来春卒業見込者は卒業見込証明書)④ 保健師免許の写し(保健師のみ)⑤ 返信用切手(80円切手2枚)※申込書類は返却しません。

給与(初任給)

172,200円(20年4月1日現在、経験年数により異なります)

問合せ

総務課人事係 ☎757-9787

開催日・会場

開催日：原則として平日の夜間
開催会場：各地域の公民館や集会施設など
開催時間：2時間以内(おおむね午後7時から9時まで)

申込み方法

地域協議会(事務局)で取りまとめて申し込みます。テーマ、発言・質問などの概要についても申し込みます。開催受付は先着順とします。※詳しくは市ホームページをご覧ください。

問合せ

総務課広報広聴係
☎757-3112(内線213)

平成20年度 まち・むらトークを行います



地域(おおむね地域協議会単位)に市長ほかが出向き、まちづくりについて意見交換する平成20年度「まち・むらトーク」を始めます。

開催地・テーマ募集

開催地募集：地域協議会(事情により地区振興会)単位で開催地・テーマを募集します。



先生の指導にも熱が入ります

今年も公民館事業の一環として、成人・高齢者を対象とした各種の講座が開催されています。
5月16日(金)からは「焼物教室」がスタートし、開講式が行われました。今年度の焼物教室には、初めて参加する人を含めて23人の受講生が集まりました。

公民館講座がスタートしました

かわい新聞

川西支所
☎768-3111

さん(妻有町西1・2・54歳)が、「受講者の皆さんから努力精進をいただき、11月の文化祭には、全員が力作を展示できるようにしよう」と受講者を激励しました。その後、早速お皿を制作。経験者は慣れた手付きでそれぞれ作業に取り掛かり、初心者も先生から熱のこもった手ほどきを受けていました。作業は土をこねることから始まり、それぞれが好きな形に整えていきました。今年で3年目となる受講生の一人は、「以前から興味があったので、受講しています。まだ納得できるほどの作品は作れていませんが、一つともいえない達成感があります。これからは休むことなく受講したいです」と、生き生きとした表情で話していました。

食の安全を守る

十日町食品衛生協会川西分会(山口康司会長)の平成20年度定期総会が、5月13日(火)、川西商工会館で開催されました。

総会では、前年度事業や会計報告、今年度事業計画、予算、役員などについて審議・決議しました。また議題のほかに、食に関する事件・事故の多発で関心が高まっている『食の安全』についても話が出され、食品事業者として消費者を第一に考えて安心・安全な食品を提供することを改めて誓っていました。



会員からの積極的な提案もありました

新緑のもとに大名行列



「姫様のお通りでございませう」

5月25日(日)、第38回節黒城山開きまつりが節黒城跡で行われました。ときおり小雨が降るあいにくの天候でしたが、安全祈願祭の後には市内外の城跡との狼煙交換が行われ、ほら貝の音とともに、まつり一番の見どころである大名行列が新緑美しい山を下りました。行列には侍姿にふんした上野地区の皆さんのほか、田口市長扮する城代家老、上野小学校児童の少年剣士隊、かわいらしい姫君を乗せたかごが参加し、沿道に詰めかけた観客の目を楽しませていました。



「たい」とあいさつ。その後、和やかな雰囲気では進み、最後は全員で「ふるさと」を大合唱し、草刈りと収穫作業での再会を確認しながら交流を深めていました。

5月31日(土)と6月1日(日)、湯山地区で今年17年目を迎えた「グリーンリース・ふるさと貸し農園」の田植え作業が行われ、貸し農園会員である東京松之山山会会員など関東方面から約80人が参加しました。初日はあいにく小雨が降る肌寒い日でしたが、発足当初からの会員が多く、自前の長靴を持参するなど、作業も手際よく本格的に行っていました。貸し農園管理委員会のオナー代表の一人である神奈川県から参加した柏村孝さんは、「全国的にこのような制度

はありますが、この地域は管理組合の皆さんが一生懸命取り組んでくれるので長く続いているんです」と話していました。田植え終了後、松之山温泉で東京松之山山会のふるさと交流会が開催され、田口市長や貸し農園管理組合員など54人が集まりました。田口市長は、「ふるさと納税制度が今年から始まりませんが、十日町市も『とおかまち応援寄附条例』を6月議会上程します。受け皿をしっかりとした上で、改めて皆さんに応援をお願いしたい」とあいさつ。

新緑の中での交流 貸し農園会員が田植え

湯ノ米マイ心ハート まつりのやま

松之山支所
☎596-3131

震災復興祈念 薪のある狂言 真夏の笑い祭典



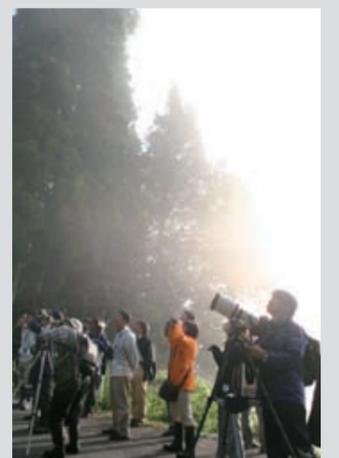
今年で12回目を迎える、狂言師・野村万作(人間国宝)公演が開催されます。夜、かがり火のたかれる中で行われる狂言は、幻想的な雰囲気を醸し出します。昨年からはイス席でも鑑賞できるようになりました。今年は平日の開催ですが、多くの皆さんの来場をお待ちしています。

- 期日：7月31日(休)午後7時～(開場6時30分)
- 演目：狂言「魚説法」「仁王」、小舞「海人」
- 会場：山の上の能楽堂(雨天時：松之山体育館)
- 入場料(前売り)：SS席6,000円、S席5,000円、A席3,500円(小・中・高生は各1,000円引き) ※当日は500円増し
- 問合せ・申込み：真夏の笑いの祭典実行委員会

☎596-3789

第52回 松之山探鳥会

5月31日(土)・6月1日(日)の2日間、第52回松之山探鳥会事業が美人林周辺などで開催され、延べ90人が参加しました。31日は松之山温泉センターで野鳥集会が行われ、講師の中村浩志さんからブッポウソウの保護活動の取り組みについて話があり、参加者は熱心に聞き入っていました。翌朝4時30分からは美人林などで探鳥会が行われ、4コースに分かれて約2時間のバードウォッチングを楽しみました。この日、確認された野鳥は過去最高の48種。めったに見ることができないアカシヨウビンの姿を見たグループもありました。最後の全体の鳥合わせの最中には、優雅に舞うブッポウソウも見られ、参加者は歓声を上げて大満足していました。





福原 陽 ふくはら はるちゃん
平成16年4月7日生まれ
ちゃん 湯山

アンパンマンショーで大好きなロールパンナちゃんと写真を撮って大満足なはるちゃん。笑顔がとってもキュートなはるちゃんは、弟のりょうたちゃんのめんどうをしっかりと見てくれる優しいお姉ちゃんです。



36



高橋 春陽 たかはし はるひちゃん
平成17年11月27日生まれ
ちゃん 赤谷

とっても仲良しな3人姉弟の末っ子のはるひちゃんは、ひなたお姉ちゃんとそうたお兄ちゃんが大好き！小学校と保育園に通う二人の帰りを、いつも待ち遠しく思いながらお留守番をしています。

ときめき ネットワーク

子どもといっしょに成長

保育士は保育園のときからの夢。幼いころは、泣いていても音楽を聴くと途端に機嫌が良くなる子で、ピアノが大好きでした。もちろんそれは今も変わらず、園児たちと歌ったりリズム遊びをしたりしているときが一番楽しいです。子どもって、ふとしたときに、ホッとするような温かいことを言ってくれるんですよ。本人は何気なく言ったことなのかもしれないですが、「この仕事をやってよかった」と思う瞬間ですね。保育士になって3年目ですが、学ぶことはまだまだ多く、毎日が勉強。子どもたちといっしょに成長しているような気がします。先輩はみんな明るくて優しく、職場の雰囲気がとても良いんですよ。毎朝出勤するのが楽しみで仕方ないです（笑）。

まだ具体的な活動はしていませんが、音楽の楽しさを多くの人に伝えていくことが今の夢。人の痛みや苦しみを感じ取り、それを音楽とおして癒せるようになりたいですね。



田中 悠里 さん
1984年生
上野保育園勤務

先月の金澤要介さんからのバトンタッチ。



会期 8月1日(金)～31日(日)

主な内容

- 1：約160点の空家プロジェクト作品・アート作品公開
- 2：儀劇劇場・吉田勘緑文楽人形公演
- 3：地元の祭りとおアーティストの連携
- 4：農舞台ギャラリー夏の企画展「越後松代一怪と談」展
- 5：明日へのフォーラム・こどもサマーキャンプ
- 6：大地の芸術祭に向けたワークショップ・イベント
- 7：ガイドが作品を案内する観光バス「里山アートツアー」

ほか

観光交流課芸術祭推進室
☎ 757-2637
まつだい農舞台事務局
☎ 595-6310

問合せ

昨年度、初めて開催した「大地の祭り」を今年も開催します。この祭りを開催する目的は、大きく2つあります。

その一つは、大地の芸術祭を開催しない年でも、この地域に訪れる人を増やすこと。大地の芸術祭は3年に一度、約50日間のみの開催ですが、約160の恒久設置されたアート作品や芸術祭で生み出された財産が数多く残ります。それらを生かして、芸術祭会期外も誘客を図ろうとしているのです。

もう一つは、来年の夏に開催される第4回大地の芸術祭に向けて、地元の雰囲気盛り上げていくことです。現在、作品制作に向けたプランと集落のマッチングなど準備が着々と進んでいます。今回の「大地の祭り」では、作品制作に関係するワークショップやイベントが数多く開催されます。また、芸術祭を応援する人たちによって3月に発足したNPO法人「越後妻有里山協働機構」も運営に参加し、活動を本格化させる予定です。

この夏のイベントへの参加をとおして、皆さんもより多く芸術祭にかかわってみませんか。詳細な内容は、次号以降に掲載します。



第4回大地の芸術祭に向けて 2008夏越後妻有大地の祭り を開催します！

2009 トキめき新潟国体 冬季大会スキー競技会
トキめきのキセキ
スポーツ振興課国体準備室 ☎752-3103

元気いっぱい「トッキッキダンス」

トキめき新潟国体のダンス「トッキッキダンス」の講習会を5・6月に3日間開催しました。アルピレックスチアリーダーズを講師に迎えてダンス講習会を行ったのは、六箇・上野・吉田・西・東・川治の小学校6校です。国体イメージソング「ガムシャラな風になれ」に振り付けしたこのトッキッキダンス。子どもたちは体育館いっぱいに広がり、少し早いリズムと難しいステップに苦労しながらも約2時間、楽しそうに踊っていました。

また、練習を重ねたトッキッキダンスを運動会で踊った小学校もありました。吉田小にはトッキッキが登場。また、上野小では両手にカ



ラー手袋をはめて踊るなど、市内では7校が運動会でトッキッキダンスを披露。みんな一生懸命覚えたダンスを元気いっぱい踊り、保護者や地域の皆さんから大きな拍手を受けていました。国体本番に向けて子どもたちも盛り上がっています。



「ガムシャラな風になれ」
CD・DVDあります！

トキめき新潟国体十日町市実行委員会では、500円以上の協賛をしていただいた人に、トキめき新潟国体イメージソング「ガムシャラな風になれ」のCDを1枚差し上げています。

また、1,000円以上の協賛をしていただいた人には、トッキッキダンスの振り付けを収録したDVDを1枚差し上げています。CD・DVDを希望する人は、国体準備室に連絡してください。





まちの話題 TOWN TOPICS

このコーナーは、まちの話題や活動などを紹介しています。情報がありましたら、総務課広報広聴係（☎757-3112内線213）へ、気軽にお寄せください。

tokamachi topics



表彰状と盾を手にする鈴木善幸院長(右)と早川丈夫事務長

県立松代病院 自治体立優良病院総務大臣表彰受賞

5月29日(木)、東京都内で自治体立優良病院表彰が行われ、県立松代病院(鈴木善幸院長)が県内では初となる総務大臣表彰を受けました。これは、過去5年間の収支が黒字で地域医療に多大な貢献を果たしているなどの条件を満たす自治体立病院が対象になるもので、今年は総務大臣表彰に全国の5病院が選ばれました。鈴木院長(47歳)は、「歴年の病院運営の成果が認められて光栄です。現在も病床稼働率が90%を上回り、地域に欠かせない医療機関としての役割を感じています。高齢化が進む現在で、在宅・訪問診療はもちろん、介護や救急機関などとの連携が欠かせません。安心な暮らしを医療で支援していくために、健全な病院運営の継続に努めていきます」と話していました。

水害に備えて

5月22日(木)、信濃川・魚野川水防連絡会主催による信濃川水防訓練が妻有大橋近くの河川敷で行われました。梅雨や台風、雪解けに伴う増水による洪水に対して、水防作業の安全性と技術の向上を図ることを目的として、毎年開催しているものです。国土交通省をはじめとする行政機関や消防関係者のほか、市内や津南町から約200人の消防団員が参加した今回の訓練では、「改良積み土のう工法」など3つの訓練を実施しました。参加した消防団員たちは、市民の財産を水害から守るために真剣な面持ちで夜間訓練に取り組んでいました。



市報とおかまち『だんだん』平成20年6月10日号 14

大蔵寺高原で山菜講習会

5月24日(出)、大蔵寺高原で松之山観光協会主催による山菜講習会が開催されました。県内外から参加した37人は、山菜採りのマナーなどの説明を受けた後、2班に分かれインストラクターの案内で約2時間山菜採りを楽しみました。今年は雪消えが遅く、あまり量はないものの、ウドやコシアブラ、根曲がり竹などを採取。参加者は採ってきた山菜の鑑定や調理方法の説明に熱心に耳を傾けていました。昼食には山菜ハイキングが用意され、参加者は山菜料理を堪能しました。



縄文の感性を呼び覚ませ じょうもん市

平成11年に笹山遺跡出土の火焰型土器群が国宝指定を受けたことを記念して始まった笹山じょうもん市が、中条笹山遺跡周辺で6月1日(日)開催されました。縄文食の試食や縄文生活体験などが行われ、市内のほか新潟市や大分県からの来客もあり、約5,000人の人出でにぎわいました。また、今年は第2部として「火焰のまつり」が行われ、新たに作られた「笹山縄文火焰太鼓」に合わせて参加者全員で火の周りで踊り、縄文の昔に思いをはせていました。笹山遺跡周辺は今年度から「火焰の都整備事業」として本格的に整備される予定です。



中学生が一日人権擁護委員で訴え

十日町人権擁護委員協議会(松井定延会長)と新潟地方方法務局十日町支局(高橋会支局長)は、6月1日の「人権擁護委員の日」の行事の一環として、十日町中学校の11人の生徒に一日人権擁護委員を委嘱しました。委嘱された生徒は6月2日(月)、登校する十日町中学校の生徒に啓発物品を手渡して人権意識の高揚を呼びかけました。一日人権擁護委員を務めた高橋優希さん(3年)は、「いじめは少なくはなっていますが、これからも人権を守っていききたい」と話していました。



山菜と田舎ごっつおに話弾む

5月24日(出)、東京十日町会(春日寛会長)主催の「山菜と田舎ごっつおを味わう会」がラポート十日町で行われました。今年で6回目となるこの催しに、東京十日町会会員と市民合わせて80人が参加し交流を深めました。タラの芽のてんぷらやぜんまいの煮物など盛りだくさんの山菜料理がテーブルに並び、参加者は故郷の味に舌鼓を打っていました。会場内では、久しぶりの再会で会話も弾み、和やかに楽しいひとときを過ごしていました。また、この催しに先立ち、塩ノ又の桜花レスリング道場を訪れた東京十日町会の一行は、北京オリンピック女子レスリング代表選手の公開練習を見学し、金メダルへの期待を膨らませていました。

tokamachi topics

15 市報とおかまち『だんだん』平成20年6月10日号



お知らせ・ガイド
市役所 TEL 757-3111

催し講座

平成20年度防火管理者資格取得講習会

消防法に基づく防火管理者資格取得講習会を行います。●期日 7月2日(水)～3日(木)●会場 クロス10●対象 防火管理義務対象者に居住または勤務する人で防火管理者に選任される予定の人●受講料 3、500円(テキスト代) ※指定の払込用紙で金融機関へ振込み●定員 100人●申込み・問合せ 6月30日(月)までに申込書(問合せ先に配置)に写真1枚を添えて十日町地域消防本部予防課(☎757-1557)または各分署所

教科書展示会

小学校、中学校、高等学校で使用する教科書を展示します。●日時 6月20日(金)～7月3日(木)午前9時30分～午後7時(日曜日は午後5時まで) ※月曜日休館●会場 情報館●入場料 無料●問合せ 学校教育課(内線311)

本とあそぼう 全国訪問おはなし隊

絵本の読み聞かせを行います。その後キャラバンカーの見学をします。●日時 6月22日(日)午前10時～11時5分●会場 情報館●対象 小学校低学年以下●問合せ 情報館(☎7570-5100)

16ミリ映写機操作講習会

操作手順など実技を交えて学びます。●日時 7月5日(土)午後1時～4時30分●会場 情報館●受講料 無料●定員 先着16人●申込み・問合せ 十日町市視聴覚ライブラリー(☎7570-5101)

赤十字救急法救急員養成講習会

日常の知識・技術として、救急隊が到着するまでの応急手当の方法を身につけておきませんか。●日時 7月19日(土)・20日(日)・21日(海の日) 午前9時～午後5時●会場 中里総合センター●対象 満15歳以上で全日程を受講できる人●受講料 3,000円(テキスト教材費、保険料を含む)●定員 先着30人●内容 蘇生法、AED、包帯法、止血法など●講師 日本赤十字社救急法指導員●資格交付 全日程修了者に修了証。全日程修了者で学科・実技の検定合格者に赤十字救急員認定証(3年間有効)を交付●申込み・問合せ 7月4日(金)までに日本赤十字社十日町地区(十日町社会福祉協議会内 ☎7570-5010)

犬のしつけ方教室

生後4か月～1歳前後の犬を飼っている家族を対象にしつけ方教室を開催します。●日時 7月9日(水)・16日(水)・23日(水)午後7時～8時30分●会場 十日町保健所駐車場●受講料 2,000円(動物愛護協会会員は1,000円)●定員 先着15人●申込み・問合せ 十日町地域振興局健康福祉部衛生環境課(☎757-2707)

キナーレ体験工房館 浴衣着付け教室

●日時 7月の毎週木曜 日午後1時30分～3時30分●会場 キナーレ●参加費 1回500円 ※浴衣一式持参(有料貸し出し有り)●定員 10人(当日受付可)●申込み・問合せ キナーレ(☎752-0117)

エルピーガスまつり

機能性・安全性ともにアップした最新コンロを体験してみませんか。●日時 6月21日(土)午前9時～午後8時30分(22日は午後5時～23日は午後4時終了)●会場 市民体育館●出品内容 日本画・洋画・版画・現代美術・彫刻・工芸・写真●入場料 無料●問合せ 小林(☎757-1375)

第17回十日町市芸術協会 会員展(美術館建設基金チャリティ小品展)

●日時 6月21日(土)～23日(月)午前9時～午後8時30分(22日は午後5時～23日は午後4時終了)●会場 市民体育館●出品内容 日本画・洋画・版画・現代美術・彫刻・工芸・写真●入場料 無料●問合せ 小林(☎757-1375)

講演会「家庭教育の根っこにあるもの」(懇談会)

●日時 6月28日(土)午前9時～10時50分(講演会)、午前11時～11時50分(懇談会) ※川西地域住民のみ●会場 千手小学校●入場料 無料●講師 内田玲子さん(家庭教育カウンセラー)●問合せ 学校教育課(内線312)

震災復興イベント「心をやがらぎを それは相撲と歌で書

武蔵川部屋力士による震災復興相撲と平野壮弦パフォーマンズ・高野千恵コンサートを行います。●日時 6月29日(日)午後1時～●会場 川西総合体育館●入場料 大人1,500円、小学生以下無料●内容 仙田子供太鼓、震災復興相撲 SOGEN パフォーマンズ、震災復興コンサートほか●申込み・問合せ 蔵品(☎090-6680-6645)

黒坂黒太郎 コカリナコンサート

●日時 6月28日(土)午後2時～(開場1時30分)●会場 津南町文化センター●入場料 大人1,500円、小・中学生1,

急隊が到着するまでの応急手当の方法を身につけておきませんか。●日時 7月19日(土)・20日(日)・21日(海の日) 午前9時～午後5時●会場 中里総合センター●対象 満15歳以上で全日程を受講できる人●受講料 3,000円(テキスト教材費、保険料を含む)●定員 先着30人●内容 蘇生法、AED、包帯法、止血法など●講師 日本赤十字社救急法指導員●資格交付 全日程修了者に修了証。全日程修了者で学科・実技の検定合格者に赤十字救急員認定証(3年間有効)を交付●申込み・問合せ 7月4日(金)までに日本赤十字社十日町地区(十日町社会福祉協議会内 ☎7570-5010)

おだまき山の会 清掃登山

苗場山への日帰り清掃登山です。●日時 7月6日(日)午前5時30分市役所裏駐車場出発●参加費 大人1,500円●定員 40人●内容 Aコース・小赤沢(登り3時間30分)、Bコース・大赤沢(登り5時間)●申込み・問合せ おだまき山の会、宮沢(☎758-2965)

小松原湿原 清掃ハイキング

小松原湿原への清掃ハイキングです。●日時 6月29日(日)午前6時30分中里総合センター集合●参加費 大人1,000円(保険料ほか)●申込み・問合せ 清津山の会・鈴木(☎763-3996)

長岡技術科学大学 オープンキャンパス

●日時 7月27日(日)午前10時～午後3時30分●会場 長岡技術科学大学(長岡市)●対象 高校生・高専生・短大生および教師、保護者など●内容 公開研究室、模擬講義、全体説明会・

アグリビジネス経営改善実践事業研修 園芸導入講座を開催します

地域で推進する園芸品目の生産・販売情報を提供する研修会を開催します。●会場 十日町地域振興局 ●参加料 無料 ●講師 生産農家、JA 職員、普及指導員 ●申込み・問合せ 6月20日(金)までに十日町農業普及指導センター(☎757-6061) 【1回のみ参加可】

日時	内容
6月24日(火) 午前10時～	地域推進品目の概要
6月24日(火) 午後1時30分～	アスパラガス
7月15日(火) 午前10時～	かぼちゃ
7月15日(火) 午後1時30分～	ミディトマト
7月22日(火) 午前10時～	なす
7月22日(火) 午後1時30分～	宿根草切花
10月7日(火) 午後1時30分～	ユリ切花
1月中旬 午後1時～	山菜の導入と経営
1月中旬 午後3時～	冬菜類

※都合により、会場や講座内容を変更することがあります

第27回十日町小唄 日本一優勝大会

●日時 7月6日(日)午前9時30分～(開場9時)●会場 クロス10●入場料 無料●問合せ 十日町市観光協会(☎757-3345)

白濱、晋平、八重子、夢二の十日町小唄物語展

●日時 6月20日(金)～7月6日(日)午前9時～午後6時●会場 クロス10●展示内容 明石縮衣装、竹久夢二画ポスターほか●問合せ クロス10(☎757-2323)

松葉沢公園しょうぶまつり

200種類1万株のしょうぶが彩ります。●期間 6月中旬～7月中旬●会場 松葉沢公園●問合せ 榎松葉荘(☎768-2242)

「笑み筋体操」教室

笑うことや発声、軽い運動を組み合わせた健康教室です。●日時 7月8日(火)～8月19日(火)の毎週火曜 日午後2時～3時●場所 キナーレ●参加費 1回500円(明石の湯入浴料を含む)●申込み・問合せ キナーレ(☎752-0117)



平成20年度国家公務員 三種(税務)募集

21年4月1日採用の職員を募集します。●受験資格 昭和62年4月2日～平成3年4月1日生まれの人●受付期間 6月24日(火)～7月1日(火)(土・日曜日は除く)●試験期日 第1次試験(教養試験・適性試験・作文) 9月7日(日) 第2次試験(身体検査ほか) 10月16日(土) 23日(日)の間の1日●試験会場

ジュニアウインドアンサンブルメンバー募集

●練習日 土曜 日午後●練習会場 中央公民館●参加資格 ①市内に住む小学4年生以上高校生3年生以下の児童生徒 ②保護者の送迎や自力で活動場所まで来られる人●参加費 1か月500円程度●申込み・問合せ 片桐(☎757-9980)

森の学校キョロロ 里山体験プログラム

森の学校キョロロでは里山体験プログラムを実施しています。詳細は問い合わせください。●会場 キョロロ●参加費 大人500円、小・中高生300円(小学3年生以下は保護者同伴) ※一部無料プログラムあり ●問合せ 森の学校キョロロ ☎595-8311

日時・テーマ
6月15日(日) 午後1時30分～3時・森とたんぼの生き物探検
6月21日(土) 午後1時30分～4時30分・花カレンダー調査
6月22日(日) 午後1時30分～3時・初夏の里山昆虫体験
6月28日(土) 午前4時30分～7時30分・探鳥会 午前7時30分～8時30分・たんぼの生き物調査 午後8時～9時・ホテル観察会
6月29日(日) 午後1時30分～3時・森とたんぼの生き物調査

上越テクノスクール
訓練受講生募集

建設機械技能検定の試験合格を目標に、エンジンの分解や鋼材の加工など実技を行います。

●受講期間 7月5日(土)・6日(日)午前9時～午後4時 ●受講料 3,900円 ●定員 20人(申込み多数の場合抽選) ●申込み・問合せ 6月20日(金)までに県立上越テクノスクール(☎025-545-2190)



柏レイソル
トレーニングキャンプ

サッカーJ1チーム柏レイソルのトレーニングキャンプが開催されます。●練習日時 6月13日(金)～19日(日)午前9時30分～午後3時30分(いずれも2時間程度) ※13日は午後・19日は午前のみ ●会場 2クロアチアピッチ ●問合せ 2スポーツ振興課(☎752-4377)

ちびっ子サッカー教室

●日時 6月22日(日)午前9時～正午 ●会場 10日町小学校 ●対

象 小学生以下 ●参加費 無料 ●持ち物 外履き、内履き、飲み物 ※運動のできる服装で参加 ●問合せ 2スポーツ振興課(☎752-4377)

レクダンス講習会

●日時 6月24日(火)午後7時～(受付6時30分) ●会場 市民体育館 ●参加費 500円 ●講師 宮沢忠男さん(社)日本フォークダンス連盟公認指導者 ●持ち物 内履き ※運動のできる服装で参加 ●問合せ 2高橋(☎757-2686)

10日町体力づくり支援センター
6月の体験教室

赤ちゃんから大人までどなたでも参加できます。●期日 6月1日(日)～30日(月) ●会場 10日町体力づくり支援センター ●受講料 5,435円(期間内4回受講可能) ※バス利用希望者は問い合わせください ●申込み・問合せ 10日町体力づくり支援センター(☎758-343)



内閣総理大臣名の書状を贈呈します

第二次世界大戦で外地などに派遣された人に、内閣総理大臣名の書状を贈呈しています。●対象 旧日本赤十字社救護看護婦および旧陸海軍従軍看護婦 ※慰労給付金受給者は除く ●請求期限 21年3月31日(火) ●問合せ 総務省大臣官房管理室業務担当(☎03-5253-5182)

無料電話相談会
多重債務110番

気軽に相談してください。●日時 6月22日(日)午前10時～午後4時 ●相談電話番号 2025-223-2500(当日のみ) ●問合せ 2帯瀬利明司法書士事務所(☎0250-24-0947)

最低賃金法が変わります

最低賃金の法定基準や罰金の上限額、派遣労働者への適用関係などが大きく改正されます。詳しくは問い合わせください。●問合せ 2新潟労働局労働

休日労働相談会の開催

労働に関する相談に専門家がアドバイスします。●日時 6月21日(土)午前10時～午後4時 ●会場 2ながおか市民センター(長岡市) ●相談料 無料 ●相談員 2社会保険労務士ほか ●問合せ 2長岡労働相談所(☎0258-37-6110)

寄付ありがとう

- 5月25日届出分まで(敬称略) ●地域福祉基金へ 10日町歌謡クラブ(100,000円) 南雲一枝(中央町・50,000円) ●交通遺児等援助基金へ 10日町オートクラブスポーツ(40,000円) ●博物館へ 関口幸作(本町6-1) 関谷幸雄(菅刈) ●情報館へ 佐藤一善(松之山) 桑原耕司(岐阜県岐阜市) 京馬伸子(神奈川県横浜市) 藤田観龍(神奈川県川崎市) 新潟大学人文学部研究推進委員会(新潟市) 助新潟県埋蔵文化財調査事業団(新潟市)

ゆきくに「幸国学級」参加者募集

高齢期を「健康で楽しく送る」ための講座を開催します。日ごろ一人で過ごしている時間の多い人、何かちょっとやってみたいと思う人、公民館へ足を運んでみませんか。 ●会場 中央公民館 ●対象者 おおむね75歳以上で一人暮らしの人 ●参加費 1回600円(夕食代) ●定員 15人 ●持ち物 湯飲み、はし ●申込み・問合せ 6月25日(水)までに、申込書(問合せ先に配置)に参加費を添えて中央公民館 ☎757-5011 ※いずれも時間は午後3時～6時(午後5時まで講座、その後夕食)

期日	内容	講師
7月3日(木)	はじめまして。オリエンテーション	上村圭三さん
7月17日(木)	広告紙などを使って作る「リサイクル工作」	上村圭三さん
8月7日(木)	無理なくだれでも続けられる「優しいヨガ」	江口耕樹さん
9月4日(木)・18日(木)	ギター&アコーディオンによるミニミニコンサート	十日町市社会福祉協議会職員
10月2日(木)・16日(木)	ネイチャーゲームなどで楽しくコミュニケーション。	根津明子さん
11月6日(木)・20日(木)	「五・七・五」で遊びましょ。	明石学級「俳句コース」の皆さん
12月4日(木)・18日(木)	すばらしき本たちとの出会い「心おどる絵本の世界へようこそ」	富井朝子さん
1月8日(木)・22日(木)	懐かしい「唱歌」を歌ってみましょう	宮澤ハルエさん
2月5日(木)・19日(木)	広告紙などを使って作る「リサイクル工作」第2弾	上村圭三さん
3月12日(木)	「おいしい話」食べることは健やかなること	志田 中さん
3月26日(木)	おしゃべり会・館長からのおまけつき!	公民館職員ほか

この講座は、十日町市社会福祉協議会 J A十日町の協力を得て実施しています。

作業停電のため、情報館での証明書の発行ができません

ご理解とご協力をお願いいたします。●日時 6月14日(土)午前9時30分～午後1時28日(土)の終日 ●問合せ 2市民生活課市民係(内線154)

十日町市新商品等開発支援事業

試作品づくりや企画・アイデアの具体化を支援します。●対象 2企業(1②のみ)、個人

6月は土砂災害防止月間です

がけ崩れや地滑りなどの土砂災害は、一瞬のうちに尊い命や貴重な財産を奪ってしまいがちです。①雨が長く降り続くときや大雨のとき ②川の水、井戸の水、わき水の量が変化したり濁り、だしたりしたとき ③土地にき裂が生じたときなどは非常に危険です。日ごろから天候情報を確認し、危険を感じたらすぐに避難しましょう。山やがけ、川などで異常な所などを見つけたら、すぐに連絡してください。●連絡・問合せ 2克雪維持課維持管理係(内線271) または各支所農林建設課

「不法滞在」の外国人を雇用すると処罰される
ことがあります

来日外国人を雇用・就労させる場合、旅券(パスポート)や外国人登録証明書などで「在留期間」や「在留資格」を確認することが必要です。「短期滞在」などの就労資格がない来日外国人や不法滞在の外国人を雇用・就労させた場合、3年以下の懲役もしくは300万円以下の罰金が適用されます。●問合せ 2十日町警察署(☎752-0110)

あさひだま

▼中越大地震の記録集「あしたへ」が、全国広報コンクールで入選されたとの連絡が入りました。「あしたへ」は、たくさんの方の市民編集委員やインタビュアー、情報提供などで協力をしてくれた市民がいます。改めてお礼を申し上げます。▼笹山じょうもん市の取材に伺いました。このイベントは、地区振興会や地域のNPOが中心となり開催されてきたもので、8年目を迎えます。特に今年は第2部「火焔のまつり」も行き、見るイベントではなく参加するイベントへと、住民パワーが爆発したものと盛り上がりました。「あしたへ」も「じょうもん市」も、これから進めようとしている市民と市との協働のまちづくりのヒントになるかもしれません。



(高)

結婚促進事業

結婚相談員を紹介します

結婚相談員が、結婚を希望する独身者の相談に応じています。担当地区は決まっていますので、だれにでも気軽に相談してください。

氏名	連絡先	住所(地区)
庭野レイ子	757-5645	十日町
福嶋恭子	757-6372	中条
野上ヤウ	757-6978	吉田
藤巻洋子	755-2273	下条
櫻澤秀子	758-3278	水沢
清水美代子	768-3108	川西
野沢正夫	768-2671	川西
小林春美	763-2241	中里
杉谷清六	763-2581	中里
関キヨ子	595-7818	松代
小堺月子	597-2536	松代
相澤正平	596-3656	松之山
重野和子	596-2203	松之山

●問合せ 2総合政策課自治振興係 ☎757-3193

▼アイリスまつりのある晴れた日、某課から航空写真の撮影の依頼を受けてヘリコプターに搭乗しました。上空から見る市内は大変美しく、信濃川に沿って伸びる河岸段丘やキラキラ光る田んぼの水面に見とれてシャッターを切るのを忘れてしまうほどでした。▼しかし日本海まで見ると思い遠くを見渡せば、黄砂のせいでしょうか。もやがかかっているように見えます。隣国中国では、毎年十日町市4つ分ほどの面積が砂漠化しているとも聞きます。ミクロな目で見渡せば美しい十日町の自然も、マクロな目で見る地球はかなり傷んでいるように見えます。6月は環境月間。身近なところからエゴに取り組みることが、自然環境の保全の大きな力になります。



(笛)



ちょうちゅうが、はしを飛ばし



ゆき 南雲佑希さん(1年)

ちょうちゅうが飛んでいるところと、貝がらが開いているところ、みんなが笑っているところを作りました。クレパスでハートやうさぎがうまく描けました。



ちょうちゅうがめがこ



りゅうた 村山龍汰さん(2年)

泳ぎが速そうで、かっこいいので、ちょうちゅうあんこうを作りました。歯を三角にして、強そうにしてみました。うろこのところもがんばりました。



ジュニア芸術祭

36

仙田小学校



クワガタ、かぶと虫が
たくさん!!



ゆうだい 小林裕大さん(3年)

去年の夏、夕方になってコミュニティセンターの裏で、僕がクワガタやかぶと虫を捕っているところです。人間の手と足がうまくできました。

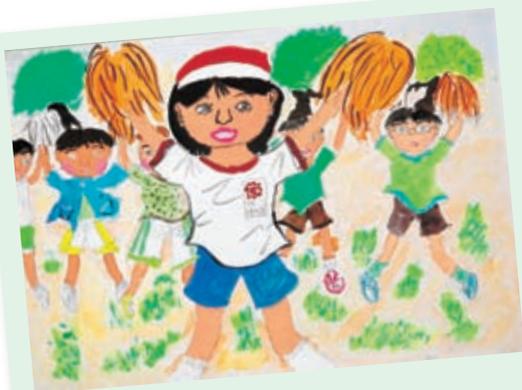


雪合戦



たいじ 南雲太志さん(4年)

冬休みにお母さんと雪合戦をしました。お母さんが投げた雪玉が僕に当たったところです。まわりに雪がたくさん降っているところをつましく彫りました。



運動会・ペコリナイト



あゆみ 増田歩美さん(5年)

去年の運動会でペコリナイトを踊っているところです。人間の目を描くのが難しかったけど、服のしわや細かい模様がうまく描けました。



絵手紙「春がこ」



めぐみ 押木恵さん(6年)

タンポポは桜よりひっそりと咲くけれど、春が来たなという感じがするし、かわいいので大好きです。春はあったかいイメージなので、この手紙を見た人の心があったかくなるといいな。

市民の動き

■ 人 口 61,614人 (-11) 男 30,133人 (-17) 女 31,481人 (+6)
■ 世帯数 19,973世帯 (+7) 5月末現在 () は前月からの増減